

道徳学習指導案

対象 第3学年

1 主題名 友情の尊さ 2－(3)

2 資料名 「坂の上のμ」(「あすを生きる」日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

真の友情には互いの信頼関係が存在し、相手に対する敬愛の念が根底になければならない。そして、相手の人間的な成長を願い、互いに励まし合い、協力を惜しまない姿勢が重要である。しかし、生徒たちにおいては、感情の起伏が激しく、その行き違いからせつかくの信頼関係が台無しになることもある。

このような時期こそ、真の友情やその尊さへの理解を深め、生涯にわたる友達と信頼に支えられた友達関係を築かせていきたい。

(2) 生徒の実態について

中学生の時期は、互いに心を許しあえる友達を真剣に求めるようになる。また、児童期から脱し、自立しようとする発達段階にある。それゆえ、世代の違いによるものの考え方や価値観の違いを強く意識するようになり、同世代によき理解者を求めたり、心の底から打ち明けて話せる友達を得たいと願ったりする気持ちが高まる。しかし、ときには相手に無批判に同調したり、都合の良い相手だけと親交したり、自分が傷つくことを恐れるあまり、最初から一定の距離をとった関係しかもったりしない生徒も出る。

(3) 資料について

本資料では、四人の少年・少女が、草野球を通じて仲間となった様子が、会話の中から伺える。会話や行動から、四人の信頼関係や思いやりがよく感じ取れる。

主人公のケイジは、一人原っぱで、野球の練習をしていたが、そこに野球の好きなケイタ、ケイチが加わり、三人で練習をすることになった。そんなある日、ナホミが現れ、一緒に野球をやることになるが、彼女は男子顔負けの腕前であった。四人の間には毎日の野球を通じて友情が芽生えはじめ、ずっと一緒にいることを約束し合う。

本資料から、友情とは協力し合い、信頼し合うことから生まれることを気付かせたい。

4 指導の工夫

マグネットを利用して、4人のイラストを黒板に貼り、人間関係をわかりやすくする。また、物語を読んだ後の友達に対するイメージの変化があった場合、わかりやすくするため、最初に友達に対するイメージについて語り合いの場を設ける。

5 本時の学習

(1) ねらい

真の友情は相互に変わらない信頼があって成り立つことを理解し、よりよい友達関係を築こうとする態度をはぐくむ。

(2) 指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	●教師の働きかけ ○指導上の留意点
導入	<p>1 友達という言葉に対するイメージを持たせる。</p> <p>○友達を何かにとえてみさせる。</p> <p>発問1「自分のとって友達とはどのようなものか」</p> <p>○「○○のようなもの」といった形で発表し合う。</p>	<p>・太陽のようなもの</p> <p>・右腕のようなもの</p>	<p>●挙手・指名により発表させる。(T1)</p> <p>○生徒たちが意見を言いやすい雰囲気をつくる。</p>
展開	<p>2 資料「坂の上のμ」を読み、次のことについて考え、語り合う。</p> <p>○四人の特徴について整理する。</p> <p>発問2野球部などに入らず、草野球を選んだ四人の気持ちを考えてみよう。</p> <p>発問3四人は、今でも野球をしているとあるが、なぜ続けることができたのだろう。また、それについてどう考えるか。</p> <p>発問4本当の友達に必要なものとは、どんなものだろう。(中心発問)</p> <p>○それぞれが考えた発問4の回答について班ごとに語り合わせる。</p> <p>○他の人の意見を聞いた感想を書かせる。</p>	<p>・四人で野球がやりたい</p> <p>・野球が目的ではなく、一緒に過ごすことが目的だった。</p> <p>・四人で一つのチームという意識があったから。</p> <p>・みんな一緒にいたいという気持ちは同じだったから。</p> <p>・やさしさ</p> <p>・協調性</p> <p>・性格の一致</p>	<p>●教師が範読する(T2)</p> <p>●マグネットを黒板に貼り、4人の関係を整理する。(T1)</p> <p>○四人の特徴をまとめたものから四人の中に思いやり、気遣いがあることに気付かせる。</p> <p>●挙手・指名により発表させる。(T1)</p> <p>●生徒の意見を板書する。(T2)</p> <p>○「私たちはずっと一緒に行こうね。…チームでいようね。」というナホミの言葉に注目させながら、四人の気持ちについて考えさせる。</p> <p>●ワークシートを配る。(T2)</p> <p>●班ごとに話し合わせ、発表させる。</p> <p>●机間指導で適時アドバイスする。(T1)(T2)</p> <p>○資料をもとに気付いたことを自分の生活に照らし合わせ、友情とは何か、友達とは何かを考えさせる。</p>
終末	<p>3 指導者が友達に助けてもらった事例を聞く。</p> <p>発問5今日の授業で感じたこと考えたことを書いてみよう。</p>		<p>●体験談を話す。(T1)(T2)</p> <p>●ワークシートに記入させる。(T1)</p> <p>●自分にとっての友達とは何かを考え記述させ、数人の生徒の文を紹介する。</p> <p>●ワークシートを回収する。(T2)</p>

(3) 評価の観点

- ・友達とは、助け合い、信頼し合う関係であることが理解できたか。
- ・友達を作ることのすばらしさを認識できたか。
- ・友情のよさについて、自分なりに考えを整理し、発表することができたか。
- ・よりよい友達関係を築こうとする態度を育てることができたか。

6 板書計画

坂の上の
天

友達とは○○のようなものだ

(例) 友達とは太陽のようなものだ。

※4人の関係をまとめる(絵カード)

①野球部などに入らず、草野球を選んだ四人の気持ちは。

②なぜ野球を続けることができたのか。それについてどう思うか。

③本当の友達に必要なものとは。

④今日の授業で感じたこと・考えたことを書いてみよう。